

可能性への挑戦

～地域とのつながりを求めて～



2004新大祭のテーマは「宴」。
「コミュニティマーケット in 新潟大学」で見つける新しいコミュニケーションのカタチ。
環境にやさしい学園祭の実現を目指した「新潟大学ECO学園祭」。
多様な人々が混在する環境の中で個々を尊重して共存していきたいと願う。

2004年第45回新大祭常任委員会

Interview



2004年第45回新大祭常任委員長
松井昭洋さん
(人文学部3年)



第45回新大祭のパンフレットの表紙。構成から撮影に至るまで全て編集による手づくり。

2004年10月30、31日の両日、新潟大学五十嵐キャンパスにおいて第45回新大祭が開催された。
主催の新大祭常任委員会は総勢125名で、準備は学生会館の談話室にて9月後半から連日進められた。
第45回新大祭常任委員長の松井昭洋さん(人文学部3年)に準備の合間を縫ってお話を伺った。

多くの方々に出会い、貴重な体験をしました。

— 今回の新大祭で委員長が勧める楽しみ方を教えてください。

レミオロメンのライブと松木安太郎さんの講演会は確実にオススメです。レミオロメンはめったに野外ライブはやりません。また、講演会は毎年立見が出るほどです。

それと、前回も人気があった体育館で行われる異種格闘技。これは、学内の格闘技系サークルや部活が競い合います。

日本酒同好会による出店も魅力です。とても安い価格で新潟を中心に全国各地のいろいろな日本酒が飲めます。毎年、アルコールの取扱いに対する注意が厳しくなってきましたので、酒を出さない大学が増えました。私たちは、酒を扱う時間帯を調整することで何とかやってきましたが、次回以降はどうか分かりません。その意味からもオススメです。

— 新大祭は地域の人たちの協力によって行われていると聞きました。どのような協力がありますか。また、他大学との交流はありますか。

地域からの協力で大きいのはテントの貸出しですね。新潟市内の学校で使っているものをこちらでトラックを用意して借りてきました。

地域のお店の方から出店のお申し出がありました。新大祭では営業できないためお断りし

ました。しかし、多数の企業から協賛金というカタチで支援をいただきました。また、新潟大学周辺や古町、万代シティのお店をまわり、約800枚のポスターを貼って頂きました。

今は他の大学でも学園祭の時期ですが、積極的に交流することは考えていません。しかし、本学内のリサイクル弁当箱会や大学生協が他大学と連携してECO学園祭(9-10頁参照)を企画、推進しています。

— 常任委員会での活動を通して学んだことはありますか。

こういった取材も含めて、大学内外のとても多くの方と知り合うことができました。それぞれの企画をしている方々やマスコミ(FM新潟の担当さん)の方々。そして、何より地域の方々とのつながり…。新大祭の活動を通して多くの方々との出会いをいただくことで貴重な体験をしました。

— 最後に、キャンパスフォーラムの読者の皆さんに一言。

我々も広報活動に力を入れていますが、新大祭は連休に開催されるので学生の中に参加しない方がたくさんいます。まずは1回、是非参加して欲しいですね。

<新大祭常任委員会> <http://www.shindaisai.net/>
2004年第45回新大祭常任委員会 委員長 松井昭洋(人文学部3年)
2005年第46回新大祭常任委員会 委員長 石田真帆(経済学部2年)



市内の学校から借りてきた
テントの幌は衛生面を考慮
し、水拭きする。



協賛をいただいた企業
のロゴ作成。当日はス
テージに貼る。



ステージ建設風景。費用節約のため、学生による手づくり。



当日の総合案内所。
来場者の窓口となる。



新大祭2日目。お天気にも恵まれて
模擬店も賑わった。

新大祭常任委員会組織

幹部

- 委員長(1名)
- 副委員長(2名)

部局..... 学園祭を運営するための組織

- 総務部(21名) 参加団体(模擬店・一般企画)の管理、電気・借用物品の管理
- 財務部(8名) 学園祭運営のための資金管理
- 衛生部(12名) 模擬店の衛生管理、ゴミの処理、ECO関連の仕事
- 企画促進部(12名) 一般企画や模擬店をサポートする企画の提案
- 渉外部(16名) 協賛企業との交渉、ステージの建設、資材関連の仕事
- 情報宣伝部(23名) テレビ・ラジオ等を利用した広報活動
- 編集部(11名) パンフレットやポスターの作成

企画..... 学園祭を盛り上げるためのステージ企画

- コンサート 『レミオロメン』を招いてのプロコンサート
- プリンセスコンテスト 学生の中でプリンセスを決める企画
- 硬派 『松木安太郎氏』を招いての講演会
- 軟派 お笑い企画

総勢
125名

新大祭を終えて

直前に中越地震が発生しましたが、
プログラムは無事にこなせました。

振り返ってみて良かったと思えることは、中越地震があったにもかかわらずアーティストと講演会講師の松木安太郎さんが予定通り来られて、プログラムの内容を無事にこなせたということです。反省点としては会場の管理面ですね。広場で前夜祭や打上げでバーベキューなどをした人が大勢いました。その辺を次回の課題にしたいと思います。以前、酒を飲んだ人が窓ガラスを割るという事件がありましたので.....。

地域との関係を特に意識して取り組んではいなかったのですが、直前に震災があったので、急遽テーマを変えて被災地を支援するために、新大祭を挙げて募金活動を行うという形にしました。震災ボランティア新大本部も立ち上がり、地域との関わりというのは十分果たせたかなと思っています。

次期委員長には、人の上に立つ者として最低のマナーを身に付けることと、あまり怒らないということを伝えたいですね。

(松井昭洋)